

三笠市議会政務活動費実績報告書

令和 6 年 10 月 31 日

三笠市議会議長 武 田 悌 一 様

会 派 名

代表者名 池 田 真 志

三笠市議会政務活動費条例第10条の規定により、次のとおり政務活動費に係る支出の実績を報告します。

記

1 交付決定額 50,400 円

2 支 出 額

項 目	金 額	摘 要
調 査 研 究 費	円	
研 修 費	58,970 円	研修負担金、航空券代、宿泊費ほか
会 議 費	円	
広 報 費	円	
広 聴 費	円	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	円	
資 料 作 成 費	円	
資 料 購 入 費	円	
合 計	58,970 円	

3 添付書類 領収書、領収明細書等の支出証拠書類

- 備考 1 摘要欄には、主な支出の内訳を記載してください。
2 会派に所属していない議員にあっては、「代表者名」とあるのは「議員名」と読み替えて記載し、「会派名」の欄の記入は、必要ありません。

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	8,050 円
------	-----	----	---------

○市町村議会議員研修 [2日間コース]

議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～


ご利用明細

いつもご利用いただき誠にありがとうございます。
 ただしまのお取引を下記の明細でご確認ください。

お取扱日	取扱金庫店番	通番	
06 10 09	10040307	0012	
口座番号			
1004-0300-		[REDACTED]	
万円 五千円 千円			
お取引内容	お引出		
手数料	¥275	通帳頁	お取引金額(円)
時刻	09:40		¥8,050*
説明コード	お取引後残高(「-」は貸越額)		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; font-size: x-small;"> 滋賀銀行 唐崎支店 普通 サイバシキョウソクケンゴサ イクサ 様 イケタ マサコ様 </div> <div style="text-align: right;"> 0000461158 サイバシキョウソクケンゴサ イクサ 様 イケタ マサコ様 01267 [REDACTED] </div> </div>			


取扱い
ご願ください。

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	39,060 円
<p>○航空券（札幌／千歳⇄大阪／伊丹（往復））</p> <p>別紙</p>			

領収書

WEB 18639822ce-T83XW-103410-0-1100

表示日 2024年08月13日(火)

イケダ マサシ

様

金額 **¥39,060-** (税込)
クレジット支払い
(消費税10%対象 ¥39,060- (税込))

航空券番号 1010407958487012 1010407958487023
照会番号 MHFY6T

但し 運賃および税金・料金等

航空券発行日 2024年08月13日(火)

上記、正に領収いたしました。

ANA | A STAR ALLIANCE MEMBER

全日本空輸株式会社 All Nippon Airways Co.,Ltd.

登録番号: T1010401099027

航空券明細

WEB 18639822ce-T83XW-103410-0-1100

表示日 2024年08月13日(火)

ご搭乗者名/照会番号

イケダ マサシ様 (MHFY6T)

搭乗日	便名	区間	クラス	運賃	運賃額等(税込)	運賃適用基準日
2024年10月20日(日)	ANA776	札幌(千歳) - 大阪(伊丹)	普通席	(往復)スーパーバリュ-55I	¥25,600-	2024年08月13日(火)
2024年10月22日(火)	ANA779	大阪(伊丹) - 札幌(千歳)	普通席	(往復)スーパーバリュ-55M	¥13,460-	2024年08月13日(火)

合計金額

¥39,060-

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	2,100 円
------	-----	----	---------

○駐車場（新千歳空港そば）

2024年10月20日

領収No012680

領 収 書

様

¥2,100-

対象計
内税

10.0%

¥2,100-
¥190-

(但し 駐車料金等 として、正に領収致しました)
印刷面を内側に折って保管願います



PARKING 株式会社 ザ・パーキング


〒066-0013
千歳市柏台1463番地1

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	6,600円
○宿泊費（アパホテル京都駅中央口）			
領収書兼利用明細書 池田様			
領収金額		¥6,600	

宿泊代		¥6,800	
アパポイント		¥-400	
**宿泊税		¥200	

小計		¥6,600	
(10%対象	¥6,400	内消費税	¥581)
(8%対象	¥0	内消費税	¥0)
宿泊税		¥200	

合計		¥6,600	
		* 軽減税率適用	** 非課税対象
現金		¥6,600	
宿泊期間:2024/10/20 - 2024/10/21			
アパホテル<京都駅前中央口>			
〒600-8212 京都府京都市下京区 東洞院通七条下ル塩小路町533番地 TEL:(075)341-8111 FAX:(075)341-8112			
アパホテル株式会社			
登録番号: T4010401043403			
取引番号: 241020000529917			
担当者			
			
			収入印紙
・本領収書は再発行できません。2024/10/20			

政務活動費領収書等貼付用紙

支出項目	研修費	金額	3,160円
------	-----	----	--------

- 空港リムジンバス（大阪（伊丹）空港～京都駅（往復））
- JR（京都～唐崎（往復））



令和6年度



市町村議会議員研修[2日間コース]

議会改革を考える

～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～

2006年に全国初の議会基本条例が制定されて以来、多くの地方議会が議会改革への取組に着手していますが、社会情勢の変化に合わせ、より柔軟性の高い議会のあり方が求められています。

本研修は、住民の関心を高め、二代表制の一翼を担う議会としてさらなる役割を果たすために、以下について学び、各議会における改革の糸口を掴んでいただくことをねらいとして実施いたします。

研修の ポイント

- 議会改革を進めるにあたっての基本的な事項（地方自治の現状、国の法制度の変化、人口減少による地域の変化など）について学ぶ
- 議会への住民参加、情報公開に関して、先進事例の紹介を聞き、意見交換等を通じて理解を深める
- ダイアログ（自分の意見を伝え、相手の考えを理解し、互いに協力して解決策を導くためのコミュニケーションの方法）を用いた演習を体験し、会議や議員間討議の進め方を学ぶ

開催要領

日程	令和6年10月21日(月)～10月22日(火) (2日間)
場所	全国市町村国際文化研修所 JR京都駅より湖西線約15分 唐崎駅下車徒歩約3分
対象	市区町村議会議員 2日間全日程をご受講いただける方を対象とします。途中退所や一時帰庁はできませんのでご注意ください。 過去に受講された方もお申込みいただけますが、より多くの方に受講していただくため、申込人数によっては、お断りする場合がありますので、予めご了承ください。
募集人数	60人 募集人数を大幅に超えた場合は、申込期限後に抽選等をさせていただきますので、予めご了承ください。なお、受講者の決定については、他の研修、セミナーの申込み・受講の有無にかかわらず、本研修単独で行います。
宿泊	研修所宿泊棟(宿泊型研修) ※外泊はできません。
経費	8,050円 左記金額は、研修、宿泊、食事(朝食1回、昼食2回、夕食1回)、資料等にかかる費用です。 なお、事前準備・事前学習にかかる費用は含まれておりません。
申込期限	令和6年8月30日(金)まで
申込方法	議会事務局を通じて、JIAMホームページ内「研修Web申込みフォーム」からお申込みください。
受講決定	受講の可否については、開講日の約1か月前を目途に通知をお送りします。 経費納入方法等の手続きについては、受講決定通知書によりお知らせします。
事前課題	研修受講にあたって、事前課題に取り組んでいただく予定です。詳細は受講決定通知書送付時にお知らせします。

問い合わせ先

公益財団法人 全国市町村研修財団 全国市町村国際文化研修所 (JIAM) 教務部

〒520-0106 滋賀県大津市唐崎二丁目13番1号 TEL.077-578-5932

[e-mail] kenshu@jiam.jp [ホームページ] <https://www.jiam.jp>

令和6年

10月
21日(月)

11:00~
入寮受付・昼食

12:30~
開講式・オリエンテーション

13:00~14:30
講義・質疑応答 **地方議会の展望**

早稲田大学 名誉教授 北川 正恭 氏
先行き不透明な時代となり、また、生成AI等技术革新が進む中、地方自治を取り巻く現状を解説いただき、その中で議会や議員に求められている役割やあり方についてお話しいたします。

14:45~15:30
講義 **「議会改革度調査」から見る地方議会**

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
早稲田大学マニフェスト研究所において実施された「議会改革度調査」を基に全国の地方議会の取組について解説します。具体的な議会変革の手法などについても解説していただきます。

15:45~17:30
事例紹介・演習 **住民参加・情報公開を進める取組①**

石川県加賀市議会 副議長 上田 朋和 氏
コーディネーター:早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
市民との情報交換や意見聴取、学校に出向いてのおでかけ教室、オンラインを活用した情報発信等に取り組み、また、オンラインでの訓練経験を生かして令和6年能登半島地震で議会として活動された加賀市から事例紹介をしていただき、その後、質疑応答を通して理解を深めます。

18:00~
交流会 夕食を兼ねて、ともに学ぶ受講者同士の親睦(情報交換・交流)を深めます。

9:00~10:45
事例紹介・演習 **住民参加・情報公開を進める取組②**

宮城県柴田町議会 議長 高橋 たい子 氏
コーディネーター:早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
ワールドカフェによる議員間討議をはじめ、高校生や町民との懇談会等の実施、またデジタルツールを活用した情報発信等に取り組まれている柴田町から事例紹介をしていただき、その後、質疑応答を通して理解を深めます。

11:00~15:00(途中昼食休憩あり)
演習 **各議会における今後の議会改革推進の検討**

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏
効率的な会議の行い方について学ぶために、「議会広報を考える」をテーマに、ダイアログ(対話)の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学びます。

15:00~15:15
閉講・事務連絡

令和6年

10月
22日(火)

● 研修内容については、都合により変更になることがありますので、予めご了承ください。なお、研修についての最新情報は、JIAMホームページをご覧ください。

JIAMメールマガジンのお知らせ

当研修所では、メールマガジンを発行しています。各研修に関する最新情報などを定期的にお知らせします。ぜひご登録ください。読者登録は、JIAMホームページで受け付けています。

令和6年度 市町村議会議員研修[2日間コース]「議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～」

(敬称略)

月日	曜日	1時限 (9:25-10:35)	2時限 (10:50-12:00)	3時限 (13:00-14:10)	4時限 (14:25-15:35)	5時限 (15:50-17:00)	課外 (17:00-)
10/21	月		11:00-12:00 受付 11:30- 昼食 12:30- 開講式・ 開講オリエンテーション 入寮オリエンテーション	【講義・質疑応答】 (13:00-14:30) 地方議会の展望 早稲田大学 名誉教授 北川 正恭	【講義】 (14:45-15:30) 「議会改革度 調査」から見る 地方議会 ※1	【事例紹介・演習】 (15:45-16:15) (16:15-17:30) 住民参加・情報公開を 進める取組① (事例紹介) (質疑応答) 石川県加賀市議会 副議長 上田 朋和 コーディネーター: ※1	18:00- 交流会
				【講堂】	【講堂】	【講堂】	【食堂】
10/22	火	【事例紹介・演習】 (9:00-9:30) (9:30-10:45) 住民参加・情報公開を 進める取組② (事例紹介) (質疑応答) 宮城県柴田町議会 議長 高橋 たい子 コーディネーター: ※1		【演習】 (11:00-11:40) (12:40-15:00) 各議会における今後の議会改革推進の検討 (進め方説明) (ダイアログ・発表・講評)		15:00-15:15 閉講・事務連絡 ※受講証明書は再発行はできませんので、 紛失されないようご注意ください。	
		【講堂】		【講堂、中教室1～3、大教室1】			

◎日程は、都合により変更になる場合があります。

(令和6年10月21日現在)

※1 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健

名札の色：白色、研修担当：高谷、小松

研 修 報 告 書

令和6年10月31日

報告者：池田 真志

政務活動費を使用し、次のとおり研修を受講したので報告します。

- 1 研修名：令和6年度市町村議会議員研修〔2日間コース〕
議会改革を考える～先進事例に学ぶ住民参加・情報公開～
- 2 日程：令和6年10月21日（月）～22日（火）
- 3 場所：全国市町村国際文化研修所
- 4 住所：滋賀県大津市唐崎2丁目13番1号
- 5 研修内容：以下のとおり

【研修内容】

〔1日目〕

●地方議会の展望【講義・質疑応答】

講師は早稲田大学名誉教授の北川正恭氏で、三重県議会議員（3期）、衆議員議員（4期）、三重県知事（2期）を歴任され、「生活者起点」を掲げ、「事業評価システム」や情報公開を積極的に進めた地方分権の旗手として、日本に「マニフェスト」を提唱し根付かせました。2003年に早稲田大学大学院公共経営研究科教授に就任し、新しい日本をつくる国民会議（21世紀臨調）共同代表、2015年早稲田大学名誉教授、早稲田大学マニフェスト研究所顧問をつとめ、2006年からスタートした「マニフェスト大賞」審査委員長をつとめる方です。

大変、熱意を感じる方で、本音と建て前を織り交ぜての講義は大いに興味を引くものでありました。これまでのやり方やしきたりを打ち破っていくためには、新人議員はめげずに頑張っしてほしいとアドバイスをいただきました。

この講義では、先行き不透明な時代となり、また、生成AI等技術革新が進む中、地方自治を取り巻く現状について解説をいただき、その中で議会や議員に求められている役割やあり方について講義を受けました。講義の要点は次のとおりです。

- ・地方分権改革は基幹委任事務の全廃により国と地方は対等協力の関係となった
- ・行政（独任制）と議会（合議制）の相互関係により民意は反映される
- ・地方主権の中心は住民代表の議会である

●「議会改革度調査」から見る地方議会【講義】

講師は早稲田大学マニフェスト研究所事務局長の中村健氏で、JR四国社員を経て、平成11年、27歳で徳島県川島町長に初当選し、全国最年少の首長となり、町長を2期務めた後、平成16年に川島町を含む4町村が合併し吉野川市が発足するにあたり、地方自治の探求を目的に早稲田大学大学院公共経営研究科に入学しました。現在は、一般社団法人地域経営推進センター代

表理事のほか早稲田大学マニフェスト研究所事務局長も兼ねています。

豊富な経験と知識を根拠として、明快な説明で講義を進めていくため、講和に引き込まれていく感じがしました。また、Z世代の使う用語を持ち出し、先の研修とは逆に若い人たちの考え方なども理解する必要があると提言されました。

この講義では、早稲田大学マニフェスト研究所において実施された「議会改革度調査」を基に全国の地方議会の取組について解説をいただき、具体的な議会変革などの手法などについて講義を受けました。講義の要点は次のとおりです。

- ・議会改革度は、情報共有・機能強化・住民参加のレーダーチャートで表す
- ・地方創生は、戦略・政策と組織・人から成り立つ
- ・これからは、議会力の差で地域に差が生まれる

●住民参加・情報公開を進める取組①【事例紹介・演習】

講師は石川県加賀市議会副議長の上田朋和氏で、市議当選3回で教育民生委員会・予算決算委員会・スポーツ推進特別委員会に所属、議会活性化特別委員会委員長を務めています。

先の中村健氏もコーディネーターとして参加しています。

質疑応答では講師とコーディネーターが課題や問題をより深く掘り下げたり、広く関連することなどにも話が及んで、より詳細で参考となる回答が得られました。

ここでは、市民との情報交換や意見聴取、学校に出向いてのおでかけ教室、オンラインを活用した情報発信等に取り組み、また、オンラインでの訓練経験を生かして令和6年能登半島地震で議会として活動された加賀市を事例紹介していただき、その後、質疑応答を通して理解を深めました。要点は次のとおりです。

- ・こうしてほしいという要望ではなく、こうしたら良くなるという提案を聞く（求める）
- ・様々なSNSがあるが、内容がありきたりになりがちなので注意を必要とする
- ・高齢議員が議会改革の取り組みを妨げている場合もある

〔2日目〕

●住民参加・情報公開を進める取組②【事例紹介・演習】

講師は宮城県柴田町議会議長の高橋たい子氏で、町議当選4回で仙南広域議会議員、中核病院企業団議会議員を務め、3期目で議長を就任し、女性トップの議会として改革を進めている方です。こちらも、先の中村健氏がコーディネーターとして参加しました。

最初は緊張のせいか実直・真面目で物静かな印象でありましたが、講義が進むにつれ強い信念や自信といったものが感じられ、議会運営に対する熱意や責任感を強く感じました。

ここでは、ワールドカフェによる議員間討議をはじめ、高校生や町民との懇談会等の実施、また、デジタルツールを活用した情報発信等に取り組みされている柴田町を事例紹介していただき、その後、質疑応答を通して理解を深めました。要点は次のとおりです。

- ・小さな気づきを大切に、出来ることから一つずつやってみる（ダメなら変更すれば良い）
- ・声に出さなければ、相手に考え方が伝わらない
- ・振り返りによる評価（検証）で行動計画を策定し結果を導き出す

●各会議における今後の議会改革推進の検討【演習】

講師は先の中村健氏が務めました。

この演習では、効率的な会議の行い方について学ぶために、「議会だよりをどのように改善すればよいか」をテーマに、班に分かれてダイアログ（対話）の手法を用いた演習を体験し、どのように議員間討議を行うか、どのような手法を用いれば会議の成果が挙がるかを学びました。要点は次のとおりです。

- ・現状（課題）と要因は密接に関連付く
- ・議論（結論を出す）と討議（話し合う）の違いを理解する
- ・参加者全員が話すことが重要である（進行役の手腕に委ねられるが向き不向きがある）

私は5名で構成される4班に配属され、演習を体験し作業を行いました。

各自治体の現状（課題）と要因、解決策について色々な事象が出され、その中でも議会広報に関する予算確保については、自治体の規模にもよりますが1千万円を超えるところもあり驚きましたが、本市のように数万円といったところは皆無でした。

また、議会広報の編集・発行については、議員自らが作業を行っているところが多く、議会事務局の職員が関わる機会は少ない傾向であると感じましたが、これが本来の姿であると考えます。

【総 評】

今回の研修は定員が60名でありましたが、全国から96名の議員が参加され、テーマである議会改革についての関心が非常に高いものと感じました。また、研修の内容から新人議員が多いものと予想されましたが、経験の長い議員も多数参加されていました。

講義や質疑応答で高齢議員が議会改革の取り組みに支障をきたしているとの話が多く聞かれ、昔ながらのやり方は既に受け入れられなくなってきている現状を察してもらうには、長い時間をかけて話し合うなど努力や工夫が必要であるが、時代は日一日と変化しており、どこかで線を引き対応が強いられるのではないかと考えられます。

事例紹介していただいた石川県加賀市や宮城県柴田町では、市民や団体などとの話し合いの場ではワールドカフェ方式を取っており、全国でも増えている傾向となっています。

ワールドカフェ方式では、参加者の全員に何らかの発言をしていただくことを前提としており、何かを決定する場ではないため、考え方や意見などの収集においては効果があると思われるため、本市においても導入に向けた検討が必要であると考えます。

参加者が96名と多かったため、また限られた時間の中で全員とコンタクトを取ることは叶いませんでしたが、交流会や班による演習で他の議会の議員と情報交換することができ人的なネットワークの広がりには効果があったと感じます。

2日間に渡る研修でありましたが、あっという間に終わってしまった感じを受けますが、内容が濃く、質疑応答では予定の時間を超えるなど参加者の取り組み姿勢も積極的であり強い意欲を感じ、非常に有意義な研修となりました。また、この様な機会があれば是非参加してみたいと思います。

今回の研修の成果を今後の議会活動・議員活動に有効に活かしていきたいと考えます。

以上